

みなさまの声を活かした跡地利用を促進します

＝ 米軍施設跡地利用構想に 3,382 通！ ＝

平成17年12月、学識経験者等による横浜市返還施設跡地利用構想検討委員会（委員長：伊藤滋早稲田大学特命教授）が「返還施設の跡地利用に関する提言」を市長に提出しました。これを受け、横浜市では、平成18年1月から、様々な方法でこの提言に対する意見募集を実施いたしました。

主な調査結果としましては、

- ① 3,382通ものアンケートの回答が寄せられるなど、**米軍施設についての関心の高さ**が伺えます。
- ② 市内米軍施設の**大規模な返還方針**については、**半分以上の方が認識**しています。
- ③ 豊かな緑地空間の創出など「**横浜から始める首都圏の環境再生**」を全体テーマとした**検討委員会の提言の基本的な方向性が多くの市民の方に支持**されました。
- ④ 各施設ごとの利用についても、**公園・緑地など緑のオープンスペースについての要望**が強くみられます。
- ⑤ 「自由意見欄」についても、1,765通というたいへん多くのご意見をいただきました。

これらのご意見を踏まえ、早い段階に市としての望ましい利用のあり方をまとめてまいります。また、いただいたご意見や、地権者の皆様のご意向を踏まえながら、さらに具体的な検討を進めてまいります。

1 調査方法等

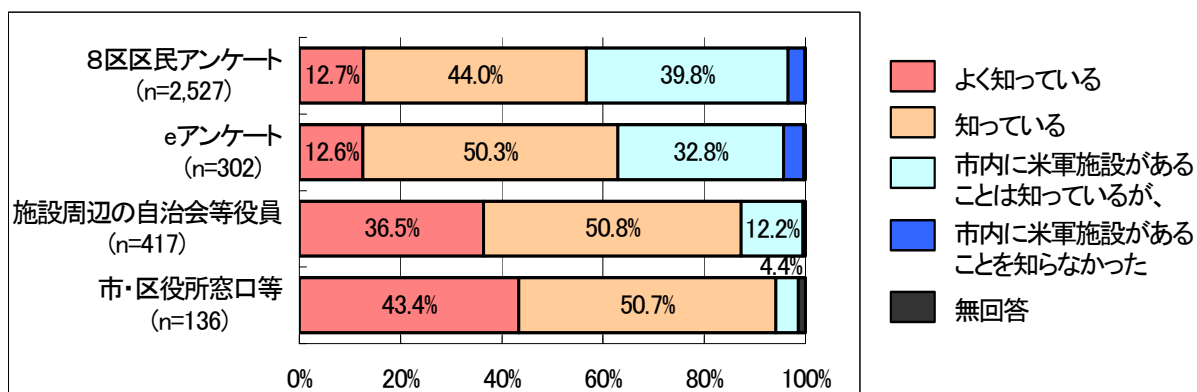
	調査対象	実施方法	調査期間	回収数／配布数 (回収率)
8区区民アンケート	施設に関係する8区（中、南、旭、磯子、金沢、戸塚、泉、瀬谷）の区民	各区 1,000 人（15 歳以上）を無作為抽出し、郵送配布、郵送回収	2月13日 ） 3月10日	2,527/8,000 (32%)
ヨコハマ e アンケート	ヨコハマ e アンケートメンバー（814名）	市民局による「ヨコハマ e アンケート」による調査	2月9日 ） 2月22日	302/814 (37%)
施設周辺の自治会等役員	施設周辺の自治会・町内会役員	施設周辺の連合自治会を通じ、加入自治会・町内会の役員に配布	1月17日 ） 3月10日	417/約 1,900 (約 22%)
市・区役所窓口及び基地対策課ホームページ	一般市民	市民情報センター・各区役所広報相談係で配布及び市基地対策課ホームページへの記入	1月17日 ） 3月10日	窓口回収：111 通 ホームページ ：25 通

※ 上瀬谷通信施設、根岸住宅地区、旧小柴貯油施設内にある民有地の地権者の方々（現時点で本市が把握している方）には、別途意見募集を行いました。

2 調査結果

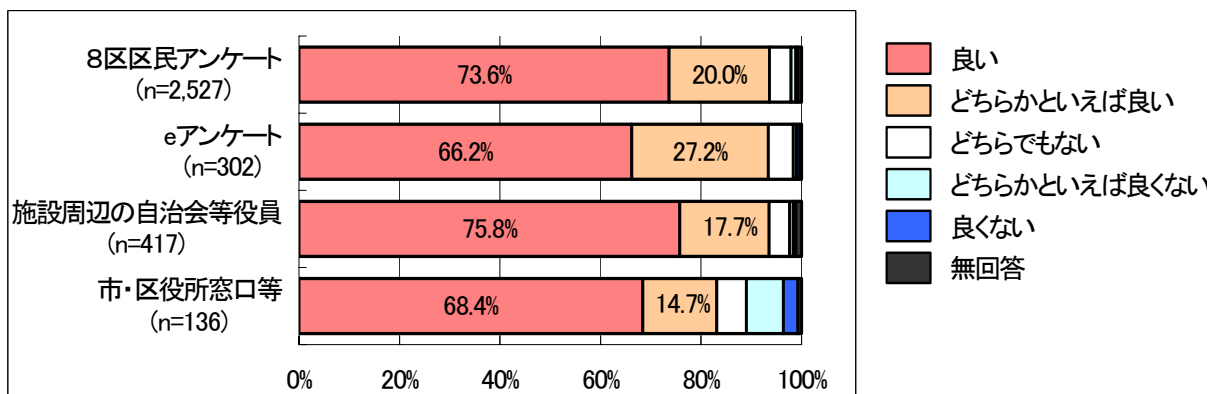
問1 横浜市内の米軍施設のうち、上瀬谷通信施設、深谷通信所、富岡倉庫地区、根岸住宅地区の返還方針が出ていること（小柴貯油施設は、17年12月返還済）についてはご存知でしたか。

- ・ いずれの実施方法でも「よく知っている」と「知っている」の回答が、半数以上を占めています。



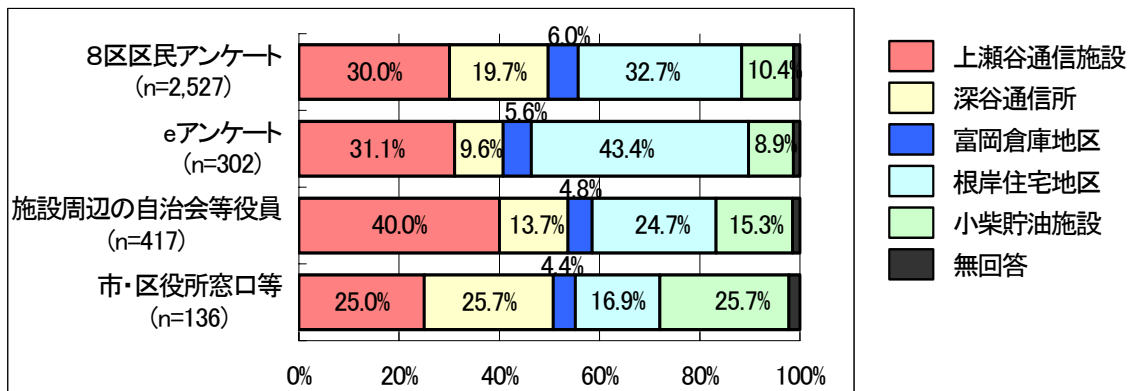
問2 提言では、問1でお示した5施設の跡地利用に共通する全体テーマとして「横浜から始める首都圏の環境再生」をあげ、豊かな緑地空間の創出など都市環境を改善することを目指しています。それについてどのようにお考えになりますか。

- ・ 「良い」と「どちらかといえば良い」との回答が合計で9割程度を占め、テーマ「横浜から始める首都圏の環境再生」については、多くの方の支持をいただきました。



問3 問1でお示した5施設のなかで、あなたが最も関心のある施設を一つだけ選んでください。

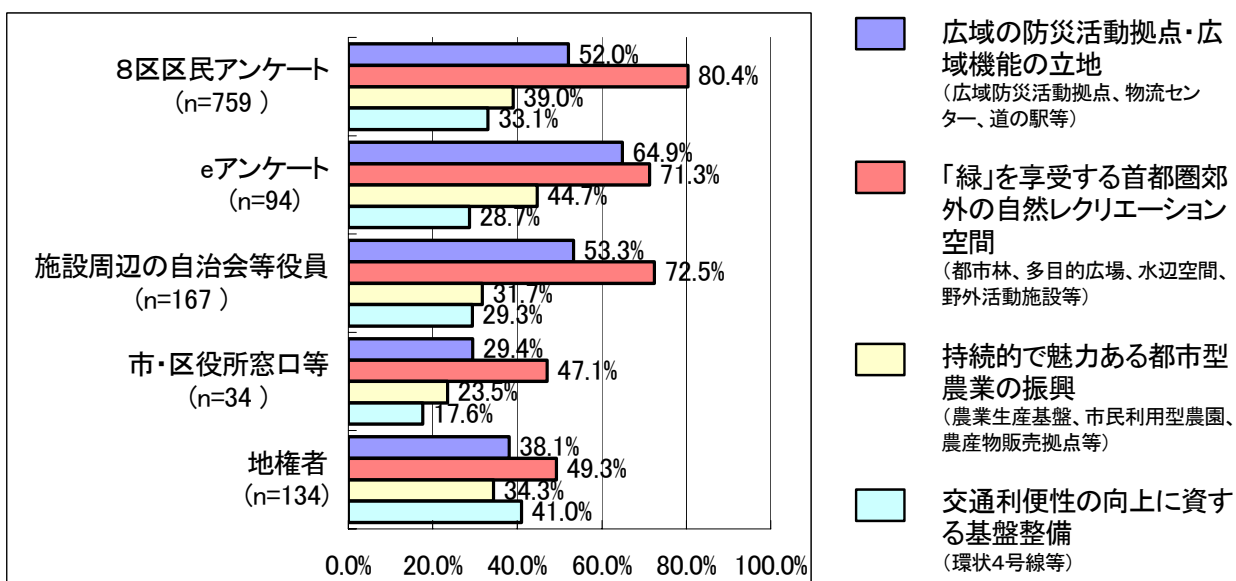
・「市・区役所窓口等」以外の回答では、「上瀬谷通信施設」と「根岸住宅地区」への関心が高くなっています。



問4 問3で選択された施設について、お聞きします。その施設の「跡地利用の方向」の中で、おおむね望ましいもの全てを選択してください。（複数選択可）

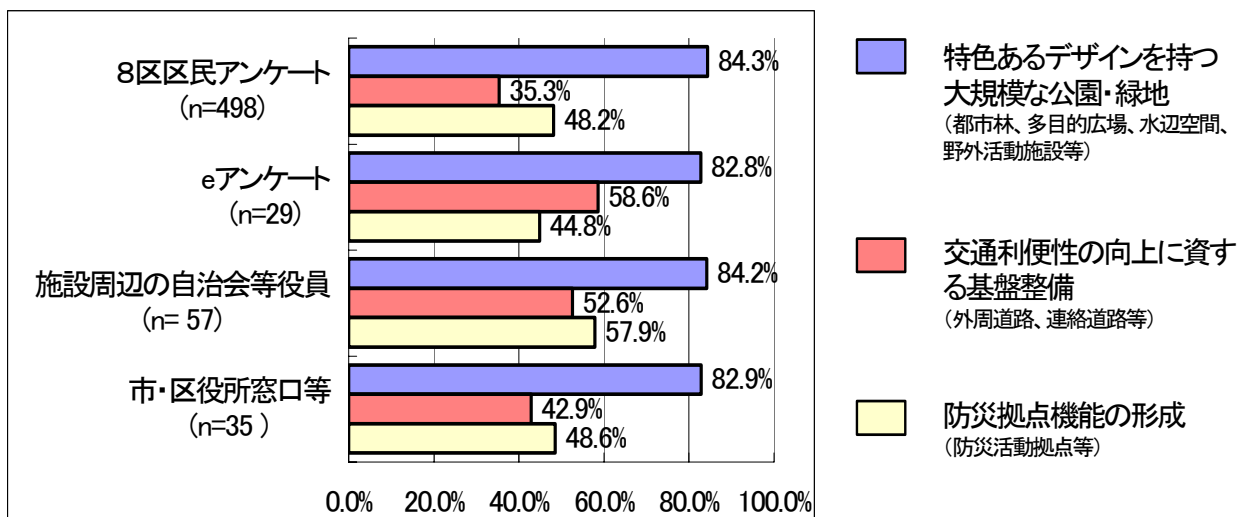
【上瀬谷通信施設】

・「自然レクリエーション空間」、「広域の防災拠点等の立地」の方向性が望ましいという回答が多くなっています。
 ・「地権者」からの回答では、半数以上の支持を得たものは無く、支持は4つの利用方向に概ね均等に分られました。



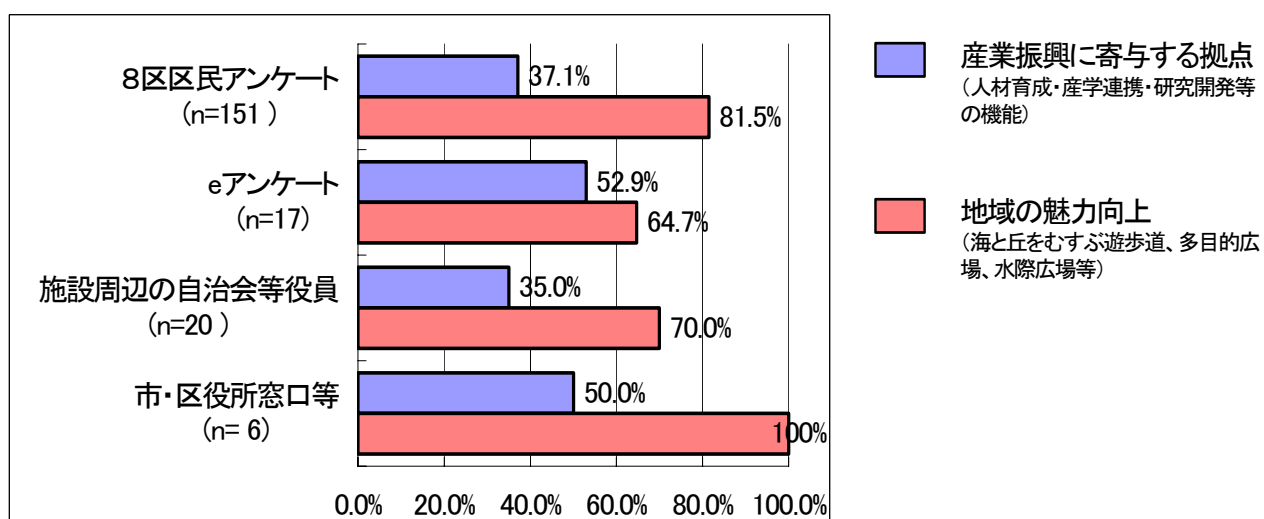
【深谷通信所】

・「特色あるデザインを持つ大規模な公園・緑地」が8割以上の支持を得ています。



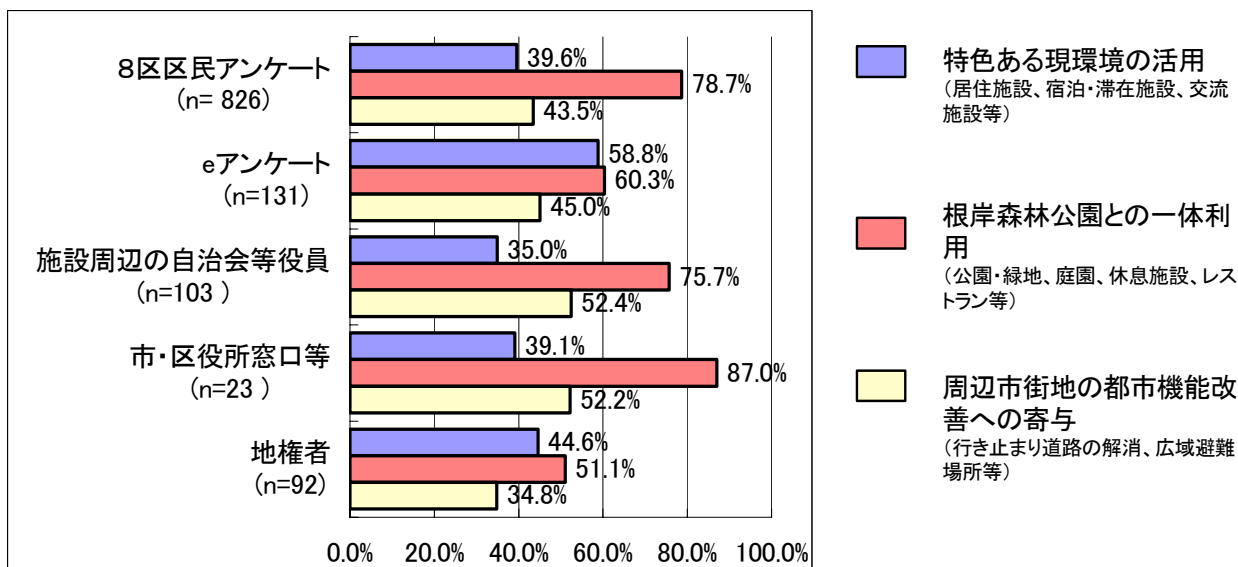
【富岡倉庫地区】

・「地域の魅力向上」が6割以上の支持を得ています。



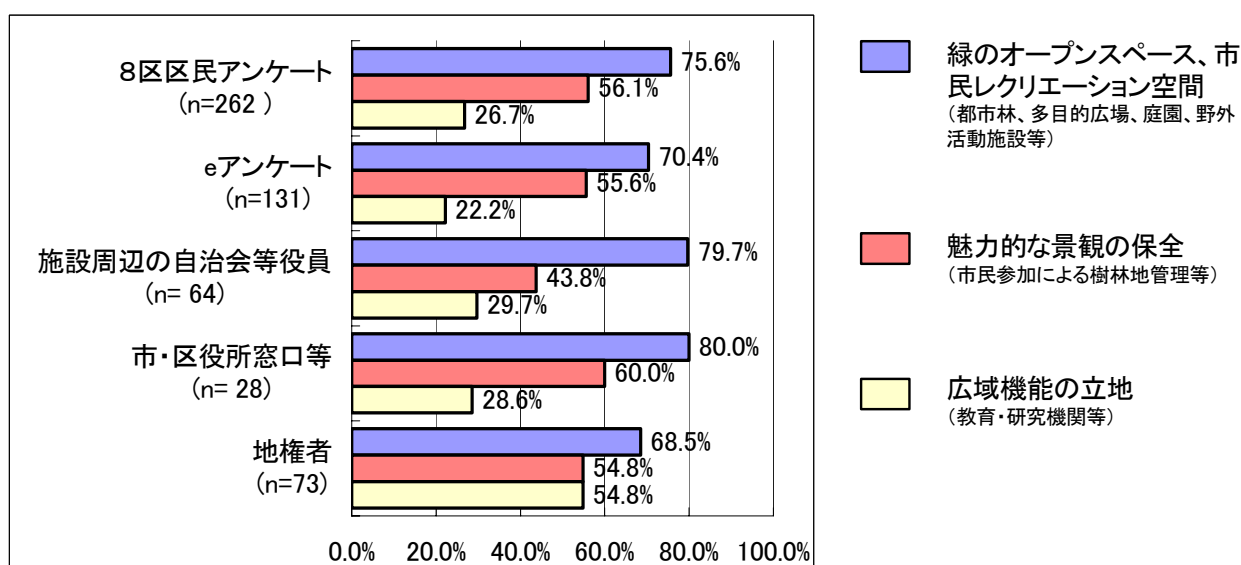
【根岸住宅地区】

- ・「根岸森林公園との一体利用」の方向性が望ましいという回答が多くなっています。
- ・「地権者」からの回答では、支持は3つの利用方向に概ね均等に分されました。



【旧小柴貯油施設】

- ・「緑のオープンスペース、市民レクリエーション空間」が概ね7割以上の支持を得ています。



[参考] 地権者アンケートの概要

上瀬谷通信施設、根岸住宅地区、旧小柴貯油施設内の民有地の地権者に対して、郵送等によりアンケート調査を行いました。配布数と回答数は、以下のとおりです。

上瀬谷通信施設：237人へ配布、134人から回答（回答率57%）

根岸住宅地区：125人へ配布、92人から回答（回答率74%）

旧小柴貯油施設：75人へ配布、73人から回答（回答率97%）

- ・ 市内米軍施設の返還方針については、非常に多くの方（8割以上）が認知しています。
- ・ 返還方針の合意に関しては、根岸住宅地区、旧小柴貯油施設では「よろこばしいことだ」と「困ったことだ」という回答がほぼ同じ割合となっており、上瀬谷通信施設では「よろこばしいことだ」が多くなっています。
- ・ 所有地の利用計画については、上瀬谷通信施設、根岸住宅地区は「まだ特に考えていない」との回答が5～7割と最も多く、旧小柴貯油施設は「希望する利用方法がある」との回答が7割と最も多くなっています。

■明日（5月11日）、横浜市都市経営局基地対策部ホームページへ「米軍施設の跡地利用に関する市民アンケート調査結果」を掲載予定

ホームページアドレス

<<http://www.city.yokohama.jp/me/keiei/kichitaisaku/index.html>>